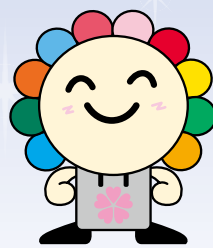


明るい選挙 推進たより



さいたま市選挙キャラクター
みらいくん

第7号

令和7年2月

編集・発行
さいたま市明るい選挙推進協議会
さいたま市選挙管理委員会

「さいたま市明るい選挙推進協議会」と「さいたま市選挙管理委員会」との協働事業として発行しています。



「選挙結果のインパクト」

松本 正生（さいたま市明るい選挙推進協議会会長）

昨2024（令和6）年10月には、3年ぶりに衆議院が解散され、第50回の総選挙が行われました。直前まで解散の有無さえわからず、加えて、非常にタイトな日程を強いられる中で、準備と遂行に努力された関係者のみなさまに、先ずは敬意を表したいと思います。

ただ、さいたま市の衆院選投票率は53.52%（全国平均は53.85%）で、前回（21年10月）の55.66%（同55.93%）から2ポイント余り低下しました。国政選挙といえども、もはや半数ほどの有権者は投票に行かないという事態が定着しています。

一方、昨年の選挙をめぐっては、4月の衆院補選における候補者の「街頭での選挙運動」への妨害行為をはじめ、7月の東京都知事選時の選挙ポス

ター掲示板の営利目的使用および著しく品位を欠くポスターの掲示（いわゆる選挙ジャック問題）など、耳目を疑う事象の連続でした。

それに比べて衆院選は、比較的落ち着いた環境で執行され、低投票率とはいえ結果に変化が生じ、政治に緊張感がもたらされたことも事実です。

「1票を投じて何も変わらない」と考え投票に行かなかった人たちが、これらの結果をみてどう思うのか。そのことが今後の投票率に関わってくるのではないかと思います。

2025（令和7）年は、5月にさいたま市長選、6月に東京都議選、さらに7月には参院選が予定されています。何はともあれ、平穏な環境下で選挙が行われることを望む次第です。



さいたま市明るい選挙推進協議会は、
明るい選挙を推進するための活動を行っています。



活動の目的

- ①選挙違反のないきれいな選挙を行うこと
- ②有権者がこぞって投票に参加すること
- ③有権者が普段から政治と選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うこと

明るい選挙 とは？

有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が政治に正しく反映される選挙をいい、明るい選挙推進運動は、特定の政党、政策、候補者を支持したり、反対したりする政治活動や選挙運動とは、はっきり区別されるものです。

～さいたま市明るい選挙推進協議会は発足から **20** 周年を迎えました～

令和6年度

明るい選挙啓発ポスターコンクール

小学校、中学校、高等学校合わせて679作品の応募がありました。

各区における第1次審査を通過した114作品について、さいたま市明るい選挙推進協議会委員が審査を行い、次の15作品が、さいたま市入選となりました。さらに、県の審査で1作品が入選し、2作品が佳作となりました。

小学校の部



〔北区〕沖村 幹太さん
(東大成小学校6年)

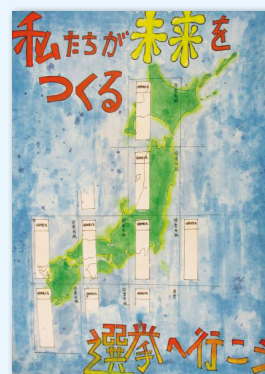


〔中央区〕桑津 諒大さん
(与野八幡小学校5年)

中学校の部



〔西区〕一色 彩羽さん
(指扇中学校2年)



〔西区〕本瓦 紗さん
(土屋中学校2年)

県佳作



〔大宮区〕高原 秀一朗さん
(三橋小学校2年)

県佳作



〔桜区〕角田 桜菜さん
(大久保中学校3年)



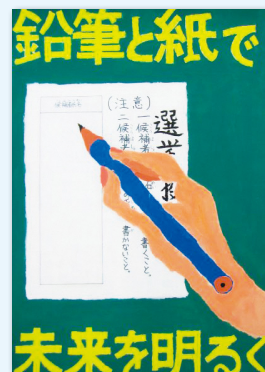
〔浦和区〕西島 千遥さん
(仲本小学校6年)



〔岩槻区〕坂巻 太一さん
(太田小学校6年)



〔浦和区〕斎藤 由唯さん
(常盤中学校2年)



〔南区〕木俣 みのりさん
(内谷中学校1年)

高等学校の部

県入選



〔西区〕石橋 陽茉莉さん
(大宮光陵高等学校1年)



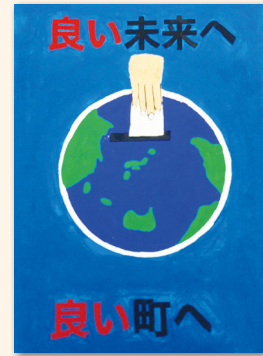
〔西区〕三屋 葵さん
(大宮南高等学校1年)



〔西区〕前澤 華音さん
(大宮南高等学校2年)



〔北区〕田口 樹さん
(埼玉県立特別支援学校 大宮ろう学園高等部1年)



〔北区〕山本 凜久弥さん
(埼玉県立特別支援学校 大宮ろう学園高等部1年)

令和6年11月10日(日)に、令和6年度さいたま市明るい選挙啓発ポスターコンクールの入選者をお招きして、表彰式を行いました。これらのコンクールの選考には、さいたま市・区明るい選挙推進協議会の委員も参加しました。



「児童・生徒等」も投票所に同伴できます。

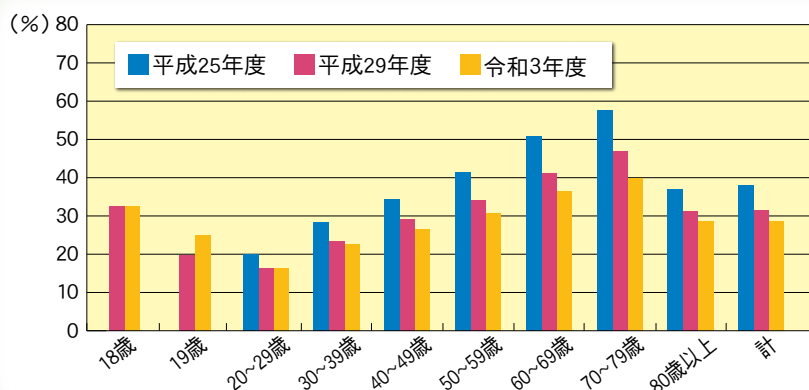


選挙権を持たない18歳未満の児童・生徒等も一緒に投票所に入ることができます。

家族等と投票所に行ったことがある人は、政治や選挙への関心が高まる傾向があるという分析もあることから、児童・生徒等有権者になった時の投票率の向上が期待されます。

※投票所内が混雑しているなど、状況によっては、同伴者が入場できない又はお待ちいただく場合があります。

さいたま市長選挙の年代別投票率



令和7年5月25日には、さいたま市長選挙が執行されます。

近年のさいたま市長選挙では、全体として投票率が下がっています。特に、若年層の投票率が低く、18歳は3人に1人が投票に行っていますが、19歳は4人に1人、20代になると6人に1人へと減少しています。

引き続き大学生・子育て世代等の若年層に対し、投票することの大切さを呼びかけてまいります。

寄附禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう！

- 政治家は有権者に寄附を贈らない！
- 有権者は政治家に寄附を求めない！
- 政治家から有権者への寄附は受け取らない！



政治家や政治家の後援団体が、選挙区内の人や団体に対して寄附をすることは、罰則をもって禁止されています。（政党に対するものなどは除く）

また、有権者が政治家に対して寄附を求めることも禁止されています。

研究集会2024を実施しました

令和6年11月10日（日）に浦和コミュニティセンターにおいて、さいたま市明るい選挙推進協議会と選挙管理委員会との共催で研究集会2024を実施しました。（参加人数：39人）

実施内容

公益財団法人明るい選挙推進協会の金井様を講師にお迎えし、「若年層とのコミュニケーション」をテーマにご講演いただきました。

また、講演後にはグループミーティングを実施し、参加者間で活発な意見交換が行われ、テーマへの理解を深めることができました。



進学や就職などで引っ越したら住民票を移しましょう！

選挙啓発資料の紹介 （副読本や啓発動画等）



若年向け副読本
「選挙BOOK」



選挙啓発動画

さいたま市明るい選挙推進協議会広報委員

- 田熊 栄一 委員長
- 五十嵐 健一 委員
- 福島 進 副委員長
- 中井 廉之 委員
- 古賀 宏子 市明推協副会長
- 富田 敏弘 委員

さいたま市選挙管理委員会事務局

問い合わせ先

さいたま市選挙管理委員会

さいたま市浦和区常盤6-4-4

TEL 048-829-1773 FAX 048-829-1994